

平成30年度 ウンカ情報 第2号

平成30年7月20日
島根県病害虫防除所

……県内のほ場でトビイロウンカを確認しました……

★トビイロウンカ



7月第4半旬のイネ株払い落とし調査において、トビイロウンカの成虫を確認しました。今年のほ場調査で初確認です。発生量は平年並みとなっています。

7月第3半旬に県内巡回調査では発生を確認していませんが、同時期に飛来するセジロウンカの発生を県全域において確認しています。そのため、同じくトビイロウンカも県全域に飛来していると考えられます。

～トビイロウンカ発生予測パターン～

平年値を用いた有効積算温度計算から5月29日、7月7日飛来群の発生予測パターンを作成しました(JPP-NET病害虫発生予測システム)。発生消長把握の参考としてください。

5月29日飛来群(セジロウンカ県内初飛来日)

| | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|----|
| 7月18日 | 7月27日 | 8月9日 | 8月16日 | 8月25日 | |
| 成虫 | 卵 | 幼虫 | 成虫 | 卵 | 幼虫 |

7月7日飛来群

| | | | | | |
|-------|-------|------|-------|-------|----|
| 7月14日 | 7月23日 | 8月5日 | 8月12日 | 8月21日 | |
| 成虫 | 卵 | 幼虫 | 成虫 | 卵 | 幼虫 |

注) 気温が平年と大きく異なった場合は、本予測パターンと異なることがあります。

★コブノメイガ



7月第4半旬の見取り調査において被害株を確認しました。トビイロウンカと同じく県全域に飛来していると考えられます。発生量は平年並みです。

★セジロウンカ



7月第3半旬の巡回調査では、捕獲数は0.6頭/50株(平年69.3頭)、発生ほ場率は11.8%(平年68.1%)で発生量は平年に比べてやや少なくなっていますが、県全域で発生しています。